

地方通信



固め狭曲は之を剪擴して一般交通の利便を計つたので、地方民は其の美舉を感謝して居る。

室蘭の冬期道路工事

折衝遂に双方誠意を以て解決をなし、其の後着々工事の進捗に努めて居る。

青年團の道路奉仕

札幌小樽間國道改良工事も着々進捗中の處、労働者減員に就て二百餘の労働者は反對を唱へて事務所を襲ひたるも、警戒の井上警部隊及び太田高等係隊二十餘名の鎮撫め降雨ある毎に泥濘股に達し平素は勿論人生一代を了る葬禮の場合など棺車途に立住にて一時平穏に歸したる様なりしが、労働者制減確定の報に再び事態険惡となり、諸けられた幌倉の模範青年團では何等の寄附も報酬をも受けず團の體育デー三日間を道路改拓デーと變更して低地には他より土砂を運搬し、石垣及び土盛をなし路面を掘き

石狩國瀧川町幌倉より十町のイルムケア並に瀧川墓地に到る道路は元澤地なりし爲上警部隊及び太田高等係隊二十餘名の鎮撫め降雨ある毎に泥濘股に達し平素は勿論人生一代を了る葬禮の場合など棺車途に立住にて一時平穏に歸したる様なりしが、労働者制減確定の報に再び事態険惡となり、諸けられた幌倉の模範青年團では何等の寄附も報酬をも受けず團の體育デー三日間を道路改拓デーと變更して低地には他より土砂を運搬し、石垣及び土盛をなし路面を掘き

坂の市役所前より電燈所前に至るもので此の延長二千二百六十四間其他一般改良工事延長九千四百三十間で總工費八萬九千五百九十二圓五十六錢（内勞力費四萬七千五百二十二圓七十八錢）で之に對する補助は勞力の五割と材料費の二割五分で補助總額三萬三千五百八十四圓五一錢となり其他は市債に仰ぎ鋪裝工事は冬季中は碎石事業を行ふ外道路の擴築側溝等出來得る限り失業者を徒食放流せしめざる方針で、現在國費

改修中の佛坂改良工事完成に引續き御崎、輪西間を着手の豫定である。

歌斐砂川の道路愛護

砂川歌斐兩町では道路交通安全の爲め、一、路面及び橋面の掃除、二、側溝の浚渫、三、橋梁の障害となるべき流木及び塵埃の除却、四、橋梁の修理手當、五、道路並樹の保護及砂利敷工事、六、暗渠水抜の修繕、七、町村字名標の建設、八、交通上危険と認めらるゝ箇所には警戒標を建つる事、九、各學校長は例年の通り道路の使命と其の愛護に關する訓授をなし道路の美化及び交通の利便を徹底せしめ好成績を挙げた。

東 北 方 四

内海橋架替工事決定

石ノ巻北上川の東西内海橋架換は愈々着手する事となつた。第一期工事は成るべく年内に完了し石巻町年中行事の隨一である。

明年夏の川開きまでには鐵筋コンクリートの美事な新橋が竣工する豫定である。遊覽

地として唄はれ、水の都として謳はれて居るので新橋は之れに適應する美術的な設計であつて、其の架橋地點は從前の仲瀬島を通臺に東橋、西橋となるので竣工の暁は風趣を添ふるのみならず交通繁劇な石巻の物資輸送上多大な利便を顯はすであらう。

萬石浦の架橋準備

牡鹿半島未開の産業を開拓するための開拓兼遊覽道路及渡波町連絡の萬石浦架橋も前項記載の内海橋架橋と共に進捗して居る

萬石浦の架橋亦必要缺ぐべからざる爲め工費五萬六千圓を計上し、此内一萬四千圓を

渡波町に於て負擔し牡鹿全郡の産業開拓と振興に資せんとするもので、兩橋竣工の暁は半島の風光も一段の光彩を加ふるに至るであらう。

山間開發道路着手

宮城縣黒川郡大谷村東成田より宮城郡利府村春日に通ずる三里十町の道路改良工事

は大谷村が奮發して村有金一萬二千圓を出資して着手したが同路線には有名な板谷峠の嶮所ありて曲折甚だしく難工事の爲め第一期工事として今回は中村部落より板谷部落までを改修することになった。東成田地方は廣大な面積の縣有模範林が今や伐採の適季に達して居り之を運転する爲めにも是非此の開發道路を必要とするのである。

北 越 方 四

三條常盤橋開通式

越後三条町の街頭に美貌を添へた常盤橋の開通式は秋晴れの十二日午前十時から盛大に行はれた。橋の両端には『祝開通』の大杉門を立て、萬國旗を蜘蛛手に張つて秋空を飾り式場正面祭壇には青竹に注連を廻

らして山海の供物を盛り郷社八幡宮の藤崎

社司によりて修祓型の如く神事並に式を終

り次で渡り初めを左記五夫婦によつて芽出

度行はれた。三條より藤川貞資(七六)嫁ね

か(七二)、長男貞次郎(五二)、妻いし(五〇)

孫貞策(二六)、妻慶(二三)、南雲大資(七九)

妻いち(七一)、四日市より横田新吉(七八)

妻らく(七二)以上十名で此の盛儀を見んも

のと附近は萬餘の人を以て埋まり非常の賑

ひであつた。

東 海 方 面

切山岡崎線改修着手

失業救濟を兼ねて行ふ事になつた切山岡

崎停車場線の改修は岡崎市立職業紹介所に

於て失業者の資格審査中であるが、申込者

人の由で幾分の失格者ある模様なるも大部

分は就業の筈になつて居り其の他の準備も

着々進捗して居る。

蟹江國道改修も進む

愛知縣海部郡蟹江町より彌富町に至る失

業救濟國道改修工事に従事中の鮮人勞動者

十餘名が亂闘して數名の負傷者を出すや更

に百餘名の労動者は蟹江の出張事務所を襲

襄 章 下 賜

岐阜縣大垣市馬場町

渡 部 善 兵 衛

昭和五年三月五日岐阜縣安八郡

道路改修費金壹萬六百圓寄附ス

仍テ勅定ノ紳綏褒章ヲ賜ヒ以テ

之ヲ表彰セラル

昭和六年十月七日

貢 勳 局

京津國道改良の進捗

京津間國道の改良も着々進捗し京都側では内務省の直管で京都市電終點駒上から東

山を経て日岡停留場の東寄まで延長一、三

四八米を一一米幅としこゝで山を削つた土

砂を利用して新設する竹鼻と御陵前との間が

延長八四〇米幅員一六米二〇となるので以

上二ヶ所の工費は六十五萬圓未着手の日岡

と御陵前間は府費で施行するもので合計百

五十四萬圓となるのである。また滋賀縣側

の逢阪山道路改修と連絡し京都と琵琶湖を

つなぐ大道が一年半の後には竣成し物資の

運搬に遊覽大衆のドライブに一時代を劃す

るに到るであらう。

名の警官隊を又名古屋市内各署より五十名

教習所より十五名、鮮語を解する警官五名

計百名餘を急派しました熱田、笛島兩署員は

蟹江へ其他は津島へと二隊にわかれて之を

鎮静し煽動性不穩分子は一掃されたので今

日では改修も概ね順調に進むで居る。

中國方面

明加國道工事抄る

明石加古川間國道改修工事は其の後愈々

進捗し氷丘村の一部分を除きては路床工事を終り地均しには六噸ローラー四臺で鉛意工事を急いで居る。之で大體の線形が整ふので路面の鋪装に着手する筈である。コンクリートミキサー其他の準備も既に出来て二百數十人の労動者が毎日働くとして居る。愈々表層の鋪装が出来れば神明國道にも劣らないものとなるであらう。

嚴島觀光の模範道路計畫

廣島から宮島に至る海岸の景勝道路は、内務省直營の下に、既に全線の七割を進捗し殆んど年内に竣工の見込なので、大阪土木出張所の近藤技師は引き続き路面の鋪装を計畫して居る。從來のバラス道路では折角の路型が出來ても近代の高速度交通機關に

は適應せぬ、殊に日本三景とも稱へられ四季格別の眺めに誇る此の路線は必然舗装を施すべきであらう。

文化保健の山間道路

官有林の事業としては從來第一事業に苗木の植付、第二事業に立木の伐採、第三事業に利用厚生といふことになつて居るが、第三事業として西條營林署では尾道字淨土寺國有林を文化施設事業として今春山林の公用或は保健上の見地より尾道市役所の請願にかかる休憩所の設置をなし將來國有林を開放して公園的施設をも認めるといふ譯

で作年春以來山間廻遊の保健道路を新設して地方民のため文化的恩恵に浴さしめ尙ほ進んで改良の許るす範圍内で出来るだけ衆民の便利を圖つて居る。

十方山の開發道路

三段峠の奇勝浪飛より西南へ約二里佐伯郡と山縣郡に跨れる奥三段峠の十方山（標

高三千餘尺）は八百八谷の廣漠たる大草原で近國に響く雄大な地域で古詩にも東天仙嶽雲西海馬闊潮、山頂不知頂、杳然坐九霄と呼ばれて居るほどであるが何處から分け入つても樹枝雜草に阻まれて居るので横川村の在郷軍人や青年團は他の寄附等は一切受けず模範的に勞働奉仕として開拓道路を築造したので將來に着目され麓の古屋敷には早やくも旅館が新築されるに至つた。

九州方面

雲陽橋竣工功神輿通御式

大分縣下郷村大島から宮園に通ずる山國川に今春以來架設工事中の雲陽橋は此の程完成したので去る三十日午前十一時から雲八幡神社秋永禰宜の祝詞に始まりて正午に至り八幡の神輿通御あり次で知事式辭、土肥土木課長の工事報告、参列諸員の玉串奉奠祝辭電の披露等ありて式終了後、鮮撒角力等あり夜に入り花火百餘發を打揚げ盛

觀であつた。

大分市の鋪装順調に進捗

熊本市の道路鋪装が理想的に立派に出来たので大分の銀座通りといはれる竹町もアスファルト道に施行中であるが既に八割餘は美事に竣工したので、之を見た本町通り京町、大工町、細工町共商會は聯合して引續き鋪装せられることを高山市長に交渉の結果、市長は縣と打合せの上明年度施行の立案中で竹町通りの鋪装は三十日頃迄は花々敷了させ十一月一日からの大賣出しは花々敷くする筈である。

水天宮参詣道路

年々廿萬人の參詣者を呑吐する久留米市の水天宮参道及瀬ノ下町の幅員は僅に二間半で古來筑後川の洪水受難を防ぐ爲めに家屋の地面を三、四尺乃至五、六尺も高めにして町並地並に高低出入相錯雜甚だ敷いので之を改良して其幅員も兩方に三尺拡張げて

寺内橋工事進捗

朝倉郡三奈木村の佐田川に架橋中であつ

三間半にする事になり既に測量等も終了したので諸材料も安くまた労銀も割安の冬季を利用して着手する事になつた。

佐賀市道路試験鋪装

佐賀縣廳前より停車場に至る道路は從来舊式の砂利道であつたが、今回最新の道路鋪装剤エムラスを以て鋪製施工の結果全く舊來の面目を改めたので有田町有志會でも路而改良の協議を進めて居る。

縣道高瀬線開通式

八女郡福島上新町、南三河、北山白木の一町三村に大關係を有し一方黒木町と羽犬塚方面の交通を順調ならしむる爲めの縣道道路掃除は女で澤山だといふことになり昨年以來多數の婦人を採用した

女道路看護人

トルコのコンスタンチノープルで道路掃除は女で澤山だといふことになり昨年以來多數の婦人を採用したが、之れは遂に失敗に終つた。ソレハお互いにおシャベリとお化粧に熱注して道路は以前より日に月に穢くなつたといふことである。

た寺内橋は殆んど竣工し近く開通式を舉行する運びになつて居るが同橋は延長五十メートル、幅員五メートルの鐵筋コンクリ

ト橋で、特に欄間は神苑に相對して壯嚴と風致の上から各方面の意見を參照して加工せる趣きである。